



Newsletter

秋の交換 イギリスのマンチェスタークラブとドイツのノーデルシュタットクラブ

マンチェスタークラブと FF 愛知は 1995 年受入、1996 年渡航、2005 年受入そして 2011 年の今回の渡航で4回目の交換になった。ノーデルシュタットクラブは 2005 年の受入から6 年ぶりの交換であった。

今回の交換には新しい会員の参加が多かった。帰国 2 日後の反省会では遠隔地の参加者を除き全員が 出席した。和気藹藹とした雰囲気でどの会員も二つのクラブからの温かい友情で交換を楽しんだ様子が 窺えた。この交換の成功が愛知クラブの過去の良い交換活動に繋がっていることを実感させられた。

引き続きタイのチェンマイでの APF に参加した愛知のメンバーは、そこでも過去に交流したコロラド、オレゴンのクラブの懐かしいメンバーとの思わぬ再会を楽しんだ。

2011年度は3.11の大震災から始まった困難な年ではあったがフレンドシップフォースの活動のすばらしさを再認識した年でもあった。

2012年はカナダから23名、アメリカから21名の二つの受入、アメリカのサンタ・バーバラへの渡航が予定されている。多くの会員がこれらの交換に参加して新しい友人と温かい友情が生まれることを期待したい。

マンチェスタークラブとノーデルシュタットクラブとの交換を終えて ED 土居陽子





9月26日16名の参加者は名古屋を出発してか らイギリスとドイツでめまぐるしい 2 週間を過 ごしました。マンチェスターでは、イギリス料 理はおいしくないといわれているけれど間違い だと思わせるほど ED クレアーのお料理はおい しかった。冷蔵庫、冷凍庫3台を駆使してスト ックし、外出して帰ってもすぐに準備できる状 態でした。彼女は近くの90歳、86歳の二人の 会員と週に一、二度自宅で食事を一緒にし、買 い物などの手助けをしておられました。FFの会 員も 70 代以上がほとんどで若い会員の獲得に は苦労しているようでした。会長のアンドリュ ーは機会があれば会合で FF の紹介をし、入会 の呼びかけをしているようです。一週間はフリ ーデイが2日半、全体で行動する時、昼食は自 分たちで自由にするように組まれていました。

ノーデルシュタットに到着し、また新たなスタート。真夏の気温からうって変わって晩秋の気温。プログラムはとてもしっかり組まれていてランチもドイツらしいお料理と考えられていて毎日変化がありました。会員同士の協力体制がしっかりしていてディナーホストの協力も多かったように思います。このクラブも会員は75名いるが実際活動できるメンバーは35名位だる様子だった。しかし少ないメンバーであってもお互い助け合い交換を成し遂げることは悪います。今回この交換がなんとか無事に終えられたことは2クラブとも今まで愛知クラブと関わりがありその積み重ねが大きかったことと思います。

マンチェスタークラブ&ノーテルシュタット交換 報告

イギリスでの初めてのホームステイを経験して 岡田 恵美子



主人共々、初めてFFの旅に参加させていただきました。 出発間にさいただけで、忙しさにかまけて今回の

旅がどんなものになるのか全く考えないままマン チェスター空港に降り立ちました。

第一ホストは Taylor 夫妻。Tony はユーモアが あり歌うことの大好きな 72 歳。妻 Julia はイギリス料理がおいしくないなど、いつそんな価値観を 持ってしまったのだろうと反省するほど料理上手な 72 歳。

初めは言葉の壁ばかりが気にかかっていた私で したが、美味しい料理と笑顔からいつしか国や言 葉を超えた、人としての温かさを感じている自分 に気づいていました。

シャンプーの途中でお水しか出なくなるという アクシデントもありましたが、イギリスの家庭で は一回に溜めて使える湯量が決まっているのだと いうことも知りました。

第二ホストの Christine 宅では、リス達がドングリを拾いながら木の上で遊んでいる様子を眺めながらのティータイム。時にはキツネも庭先に侵入してくるという話を聞きながら、しばし絵本の世界に入り込んだような幸福感がありました。

初めてホームステイを経験させていただいて思ったことは、数々の素晴らしい体験をする為には、 我々自身の気力、体力をも充実させなければならないと言う事。

そして最後になりましたが、日本舞踊を通して 文化交流の場を与えて頂いたことは、とても思い 出深い経験になりました。有難うございました。

再会 佐藤 美知子

イギリスでお世話になった 77 歳のキャサリン は物静かで 2005 年に愛知クラブが受入れた時、偶

然にもセントレアからホストの伊藤さん宅へ連れて行った人でした。ご主人はすでに亡くなられ、一人で静かな住宅地に住み、居間には子供さんやお孫さんの写真が沢山飾られていました。ご主人は日本人と聞いていましたので、どんな方か興味もあり「ご主人の写真は?」と聞きましたら「ない」との返事で、夫婦

仲のことが頭をよぎり "聞いてはいけない事を聞いてしまった" と思いましたが、最後の日の朝、食卓の上にご主人の写真が置いてありビックリしました。北海道出身で、19 葉でひたこのオス・メ

スを鑑別する仕事でイギリスに渡り、その後、ロンドンで日本食のレストランを経営されたとの事、

自分のベッドルームに置いて大事にされているのだと思いました。

ドイツのイエンツとレナーテも 2005年、鷹野さん宅にステイされ、「フレンドシップフォースが生活の一部」とまで言われ、今までに 100 人くらいのアンバサダーを受入れておられるご夫婦で、小林さんとお世話になりました。

親切なホストに恵まれ、歴史的な建物も沢山見 学する事が出来、又、外国で初めて電車にも乗り、 大変印象深い渡航でした。





沢野井 シゲ子

イギリス (マンチェスター) は寒いと思って冬 物を用意したが、今までにない気候と天気に恵ま れた。私は一人住まいの人の処にお世話になった。

日常とかけ離れた生活空間、グリー ンの芝と大きな樹木に囲まれゆった りした感じの町並み、食文化の違い だろうか台所はピッカピカ、汚れる 事はないように思う。今回は、コン サートに連れて行って頂き、心地よ い音楽に浸ったのも嬉しかった。毎 日が暑く、湖水地方を訪ねた時は少

し雨が降って肌寒く、イギリスを感じたように思 った。

ハンブルグの空港では、ホストは皆それぞれが お花を持って出迎えてくれた。

こちらも素敵なご夫婦で、何から何までスマート でおしゃれ、そしてとても温かい心遣いに感謝。 我が家ではこのスマートさは絶対に真似できない

ドイツでは昼食がビッグで毎日本当に美味しく 頂いた。夜は冷たい食事(パン、チーズ、ハム、

果物など)が普通だとか。日本はどうかと聞かれ たので、夜はビッグだと話した。

何回か違うホストの家でディナーのとき、よくあ

れだけ会話が続くなあと感心した (ホストどうしはドイツ語でおしゃ べりしていて、時々、今こんなこと について話しているんだと教えてく れたりした) きっとお話もお持て成 しの一つなんだろうと感じた。偶然 かなぁ・・・両クラブ共、運河 (Canal) に連れて行ってもらった。マンチェ

スターのそれは産業の発達、ドイツのキエルカナ ルは交通の便の良さ、それぞれに興味深かった。 両クラブのホストの方には、私にでも分かるよう にゆっくりと分かりやすく話して頂き、毎日が楽 しかったです。参加して良かった!

帰路にハプニングがあってフランクフルトで一 泊・・ホテルでゆっくりさせてもらいました。E Dの土居さん、何時も皆に気配りをして頂いた Ando san(ホストの皆が言っていたから)本当にお 世話になりました。有難うございました。

人生観が変わった

安藤 龍藏

イギリスでのホストは、ブラハムさんとジュリ ーさんご夫妻。空港で出迎えてくれた彼女には、 身体面に大きなハンディが見られた。夕べの団欒 のひと時、夫ブラハムさんは、BBC・TV が健康

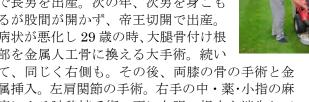
に関する番組で放映した彼女の録画を 見せながら、彼女のこれまでの人生を 語ってくれた。

彼女は22歳の時結婚。翌年、若くし てリューマチを発症。闘病の中、27歳 で長男を出産。次の年、次男を身ごも るが股間が開かず、帝王切開で出産。 病状が悪化し29歳の時、大腿骨付け根 部を金属人工骨に換える大手術。続い

て、同じく右側も。その後、両膝の骨の手術と金 属挿入。左肩関節の手術。右手の中・薬・小指の麻 痺による腱移植手術。更に左眼の視力も消失して しまったという。3年前、骨癌が発覚し、医者か ら3か月の命だと宣告されたがそれから、3年も 生き延びられ70歳を迎えた。 そうした中で、編 み物を嗜み、水彩画を描き、4 年前からスペイン 語を学び、声紋によるワードもこなす。朝 7 時に

> は紅茶を2階のブラハムさんのベッド に運び1日が始まる。もちろん、料理 も、家事も。フリーデイの1日は、彼 女の運転でサンドバッチ内の案内し てくれた。 食後の 23 種類の薬を飲 みながら、「これが私の命を支えてく れるの」「人生で大事なことは笑顔」 「過去に拘らず、未来を見つめ、常に 笑顔を忘れず、今を大切に生き抜いて

きた」と……。病と闘う彼女を支え、強い絆で結 ばれた夫婦愛。FF だから体験できるこうした人と の出会いが、私の人生観を変えた。











タイ チェンマイでの AP Festival









APF に 参加して

加藤紀子

二年に一度のFFのお祭り、タイのチェンマイで開催されたAPFに参加いたしました。今年はとても魅力的なタイのロイ・クラトン祭りに参加できることを楽しみにFF愛知9名で出かけました。

我々のステイ先ゴルフリゾートでは各国からの77名の参加者が集まり、大変にぎわっておりました。ウエルカムパーティーでの席上ではタイクラブ 10 周年の記念パーティーが行われました。そこでは、食事で残した皿があっと言う間に蟻で真っ黒になったり、壁いっぱいのヤモリの姿、等日本では見ることが出来ない貴重なタイの体験でした。また地元知事からの招待を受け、知事直々地元のダンスや食べ物、産業などの説明をしていただき、地元観光をした後には高校生の手ほどきを受け、バナナの皮でクラトンを作りました。クラトンを川に流す時に私は二人の高校生に抱えられ、まるで90代のおばあちゃんのように扱われたことがショックでしたが、弱い者に優しい国にはありがちなことだと無理に納得しました。彼ら高校生やタイの人々の英語力は我々日本人に脅威を感じさせました。

APF後のホームステイは当初バンコクの会員 宅のようでした。しかし大洪水のためチェンマイから更に北のミャンマーに近いチェンライでした。ここではタイの山岳民族の文化に触れることができました。 安藤龍藏





ホームステイ先でゴールデン・トライアングルを 訪れました。タイ、ミャンマー、ラオスの3国が メコン川で接する山岳地帯です。





象公園で象に乗り、象の病院へも案内していただきました。治療中の象や悲しい姿の象を目にし、心痛みましたが、そのような場所が観光ルートであることに驚きをも覚えました。

メインイベント、ロイクラトンのお祭りは盛大でした。 町中をパレードした時、私達の JAPAN のプラカードへ の声援に「親日家が多いな」と強く感じたのは私だけ ではありませんでした。どの人も我々に手を振り、挨拶 をしてくれ、時には握手や写真まで求められたりもし ました。私達日本人はまるでスターのようだったと皆が 感じました。まるで国の来賓扱いのようでした。

最後のフェアウエル パーティーはハプニングもありましたがこれが肩に力の入らないタイ流のお持て成しなのだと悟りました。その夜のコムローイ(熱気球)は、美しくそれはそれは印象的でした。最高の夜を過ごし1週間を楽しく計画してくださった多くのタイの皆様に感謝し、次の機会もぜひ参加したいものだと思いました。

私が訪れた村、チェンライ

加藤孝子

風土的に高床式の家が多く、夜でも窓の木 戸は開けっ放しで、年中この状態で暮らして いるそうです。もちろん金網は張ってありま すが何だか不用心の様な気がいたしました。1 階の窓も棚状態になっていて風通し良くなっ ています。私のホストはラーさんと言う名前 で、小学校の先生です。忙しい生活の中、朝 食に卵焼きを作ってくれた日がありました。 それは塩味のきいたもので、食べたら美味し かったです。日曜日、近所を案内してくれて、 会う人に私のことを「ニッポン」と紹介して いました。茨城県の男性と結婚している女性 の家に行ったり、村の中の小さな、小さな八 百屋さんも見学しました。切板の上に刻んだ お肉が載っていましたがそれも売り物なので す。ラーさんありがとう。今度は私が日本で 待っています。

2012 年度 FF 愛知の役員会に新しい風を!

2012年はFF 愛知の役員改選の年です。また、FF 愛知は再来年で25周年の節目を迎えます。この間、多くの皆様のご協力の下、素晴らしい国際交流活動を続けてきました。今後さらに会が発展し、活性化していくために役員会への新しいメンバーの参入を必要としております。入会されて間もない方も大歓迎です。会の運営に関心のある方、役員の一員としてボランティア精神でフレンドシップフォースのために共に汗を流し、会の活動を一緒に楽しんでいきませんか。

*役員会に入って一緒に働いてみようとお考えくださる方は 12 月 25 日までに事務局、会長までご連絡ください。

役員及び役員会

1. 役員

会長1名 副会長2名 書記2名 会計1名 事務局1名 広報2名 行事2名 相談役1名 直前会長1名 会計監査1名 委員(企画委員2名 行事委員1名) * 役員の任期は2年とする。但し再選を妨げない。

- 2. 役員会
 - ① 役員会は会長の召集により原則として1か月に1度開催される(現在は第3土曜日)
 - ② 役員会は過半数の出席で成立する
 - ③ 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする
 - ④ 役員会の任務
 - イ. 年間行事の立案
 - ロ. 交換プログラムの決定とプロジェクトチームの選出
 - ハ. クラブ財政の把握と運営
 - 二. 次年度予算案の作成
 - ホ. 会則の改定立案
 - へ. 次期役員の推薦

一FF 愛知会則より

- Q 役員会の主な仕事はどのようなものですか。
- A: ①1年2回の受入交換が最も大きな仕事です。行事委員、受入れEDを中心にプログラムを作成し、安全にアンバサダーを送り出すまで全役員が協力して働きます。プログラムの実行は最も重要な仕事ですが役員同士の中で連帯意識が生まれる楽しい仕事の一つです。
 - ②会員の親睦のための様々なプログラムを企画、実行します。
- Q 受け入れ交換は具体的にどのようにして行われていますか。
- A ED、行事委員を中心に役員会ではホスト、デイホスト、送迎係をリクルートします。 最近はホストから空港、プログラム参加の送迎の依頼も増え、役員がその仕事を担うことが多 くなりました。受け入れ交換は多くの人の協力があって成立するものです。役員の仕事は大 変で責任も重いです。しかし無事に交換が終了した時の達成感の喜びは大きいです。
- Q 渡航は具体的にどのようにして行われていますか。
- A 渡航 ED を選出したら参加者を募集し、役員全員で ED を応援(精神的に)します。 その後は ED を中心に参加者全員が協力して楽しい交換を成立させます。
- Q 役員の活動にあたって交通費等の費用はどのようになっていますか。
- A 基本的にはボランティア活動ですから個人負担になります。
- その他ご質問があればいつでも事務局を通して役員会にお出しください。

報告とお知らせ

≪2012 年度 総会と講演会のお知らせ≫

期日:1月28日(土)11:00~15:00 場所:あいち国際プラザ 交流室

内容: 11:00~12:00 総会 13:30~15:00 講演

総会終了後は講演を予定しています。多くの皆様の出席をお待ちいたします。

詳細は後日はがきにてご案内いたします。

≪2012 年度の交換≫

[受入]

Greater Hamilton and Burlington, Canada[23名] 4月1日~8日 ED 堀 夏江 Greater Detroit, USA[21名] 11月4日~11日 ED 鷹野 晴子

[渡航]

Santa Barbara, USA 10月 ED 加藤 孝子

イギリスとドイツの食事はおいしい! ☆アンバサダーからの報告

ドイツの食卓

イギリスの食卓



サーモン料理



いろいろな種類のチーズ

編集·発行 FF 愛知 会 長:加藤紀子 puppy-nk@cac-net.ne.jp

事務局: 西村貴美子 kk-nishi@ma.medis.ne.jp

 $\mp 478\text{-}0001$

愛知県知多市八幡字笹廻間 12-199 Tel. & Fax 0562-34-0890

ニューズレター編集・製作:鷹野晴子htkn@ma.medias.ne.jpホームページ編集・製作:谷川智恵子y615m210@yahoo.co.jp

◆ ホームページ http://ffaichi.web.fc2.com/ ◆